

委員会の活動レポート

常任委員会合同県外行政視察

平成20年5月14日(水)～16日(金)の3日間にわたり、北海道の洞爺湖町と白老町を視察研修してきました。

まず、初日には、姉妹都市である洞爺湖町への親善訪問と「合併までの取り組みと合併後の現状」について、視察研修を行いました。

洞爺湖町とは、当時の虻田町と昭和39年7月4日に姉妹都市の契りを結んでから44年の歳月が流れ、私たち議会としての訪問も6年振りとなりましたが、洞爺湖町役場に着きますと、全議員さんと多くの職員の皆さんから心温まる歓迎を受けまして、「おもてなしの心」の原点を垣間見たような思いで、大変感銘をしました。

その後、防災ホールにおいて対面式が和やかなうちに終わられ、引き続き、研修目的であります「合併までの取り組みと合併後の現状」について、吉田副町長及び大西企画防災課長から詳細にわたる説明を受けました。

平成16年6月に豊浦町・虻田町・洞爺湖村合併協議会が設立され、その後平成17年2月に豊浦町と虻田町が合併に対する住民投票を行った結果、豊浦町が反対多数となり、3月に合併協議会から離脱するなど、平成18年3月27日の洞爺湖町が誕生するまでには、大変なご苦労があったことを伺い知ることができました。

特に、地方税を始め、使用料・手数料・条例・規則、一般職の職員の取り扱いなど、多くの課題を抱えており、その解決に向け、小委員会と専門部会を8つずつ設置し、数多くの会議を開催し協議を重ねてきたことに敬意を表するとともに、当町においても、今後、合併に対する議論を進めていく上で、大いに参考になりました。

2日目は、白老町を訪れ、「行財政改革及び議会改革の取り組み」について、行財政対策室及び議会事務局の担当職員から懇切丁寧な説明を受けました。まず、行財政改革では、財政再建対策の内部改革として、職員数の削減、一般職、特別職給与削減、収納率の向上、町有財産の売却など9項目を掲げており、また、町民への負担、協力として、事務事業の見直し、使用料・手数料等の見直し、超過課税の実施など6項目を掲げ、これらの目標を着実に実行し、財政再建に取り組む覚悟が強く感じられました。

次に、議会改革の取り組みとしては、第1次改革(平成10年度～14年度)では、議員定数の見直し、議員の政策能力の向上、議会の情報公開、倫理条例の制定など6項目に取り組み、引き続き、第2次改革(平成14年度～18年度)では、議会機能の充実と議員の政策議論の活性化、議員報酬・手当等の見直し、事務局体制の充実など5項目に取り組んでおり、平成19年6月から

は、通年議会を試行し、議会改革に積極的に取り組む姿勢には、大いに刺激を受け、当町における議会改革をさらに進めていく必要性を改めて痛感しました。現在、第3次改革(平成20年度)を策定中で、改革項目の中には、大変参考となるものも多く、大変有意義な研修となりました。

白老町での視察研修



総務企画観光常任委員会

◎平成20年3月11日

付託となった「町の魚指定についての陳情」と「箱根町職員の自己啓発等休業に関する条例の制定」を審議しました。

◎平成20年5月22日

「県西地域市町村合併に関する検討結果報告」について、企画課から説明がありました。

◎平成20年6月3日

所管事務事項について、総務部、企画観光部及び消防本部から報告がありました。

教育福祉環境常任委員会

◎平成20年6月2日

所管事務事項について、福祉部、環境整備部及び教育委員会から報告がありました。

議会運営委員会

◎平成20年6月5日

6月定例会の議事日程等について、協議をしました。

箱根町広域行政調査特別委員会

◎平成20年4月24日

平成19年度熱海・箱根広域行政推進協議会の結果報告及び熱海・箱根広域行政推進協議会委員の改選を行いました。

編集後記

箱根町議会として、5月14日から16日までの3日間にわたり北海道洞爺湖町へ県外視察に行ってきました。

洞爺湖町は、平成18年3月に虻田町と洞爺湖村が合併し、洞爺湖と有珠山と噴火湾に囲まれた自然豊かな町です。

7月に行われる洞爺湖サミットの前に私たちは、親善訪問ができて、本当に良かったと思っております。

そして、洞爺湖町議会皆さんの熱烈なる歓迎で、「おもてなしの心」を学びました。また、洞爺湖町の合併に至る背景や必要性などの経緯を調査してきました。

洞爺湖町といつまでも姉妹都市として友好的な関係が続くとともに、また、心から洞爺湖サミットの大成功を祈りたいと思います。

(村野 記)

議会だより編集委員会

- 委員長 勝呂 昌子
- 副委員長 村野由紀子
- 委員 二見 嘉彦
- 委員 折橋 尚道